

居合道 だより

第 179 号





はじめに

前月5月号で9年間109回という居合道部のHPの表紙を書き綴ってこられた井手範士に感謝と敬意、そして御礼を申し上げます。ほんとうにお疲れさまでした。

お釈迦様の言われる「人間の108の煩惱」を納めて109回目で悟りを説かれたところがまた「井手先生らしいな」と感服しきりですが、あとを受ける者に井手範士、またその前の迫野範士のような文才が有るわけもなく、身に降りかかって慌てている自分を嘆かわしく思っています。まあ、月交代で理事の先生方をお願いすることを思い描いていますのでご協力のほどよろしくお願いします。

3度目の福岡県での緊急事態宣言施行日と同日の5月12日に南部九州、その週末の15日に北部九州での梅雨入り宣言がなされました。福岡県としては観測史上、2番目の早い梅雨入りとのこと。

今年は桜の開花も散るのも早く、また季節の花々もサツキ、フジもあっという間に終わってしまいました。私の毎日の日課であるウォーキング、ランニングのコースである洞海湾に流れ込む2級河川「金手川」の歩道脇も桜で目を楽しませてくれましたが、まだかまだか・・・と日に日に膨らむ蕾を待ちわびている時はなかなか咲いてくれず、一輪の開花を見つけて「やっと咲いた」と喜んでからは、雨のたび

風が吹くたびに川面の色となってしまいました。

退職を機に荒尾の家を引き払い、北九州に完全移住してから3年目となりましたが、その川沿いを通るたびに目を引くのがミカンの木です。市から配布されたのかと思うくらいにどの家にも庭にいくつもの黄色い実をつけています。我が家の対面の家も奥の家にもお隣さんも、「甘夏」でしょうか？不思議なことにどの家も収穫する気配は有りません。

愚妻曰く、「すっぱ過ぎて、食べれないんじゃないの？」と言うことで、ご近所さんをお願いしたところ、ちょうど昨夜の雨風で落実したとのことで1個のはずが3個頂いてしまいました。(笑)

まずは洗って仏壇にお供えをし、1週間の熟成期間（勝手に決めて）を置いて食



してみるか、でも無知とは悲しいもので食べれなかったら困るので、その熟成期間のうちに調べてみました。

今時分の甘夏を含む夏みかんは夏橙、夏代々ともよばれ、前年の秋になった実を夏になっても収穫しないでおくと今年は今年の実がなり、同じ木に前年と今年の両方の実がついた状態になるそう。その様から代々続くという意味あい「夏代々」と名付けられたとのこと。なるほど、そういった縁起を込めて植樹されているものだと納得した次第です。ただし、その年の秋の実は晩秋には黄色く色づくけれど、その時点では酸味が強く食べられず冬まで待って貯蔵して酸を抜くか、春先から初夏まで木成りで完熟させて食すことで、涼しげなほど良く甘い酸味を味わうことが

できるということで「夏みかん」と呼ばれるということも合わせて知りました。

機を見るということで考えると、小生と同じ年代の先生方は同じ様な経験があるのではないかと思います。「お前は剣道をやっているんだよな」と言われて、入門してから来る日も来る日も上下段の素振り。半年経って「もうよかろう。今まで素振りしながら見てきただろうから、今日から初発刀いくぞ。」とそれからまた半年間。その1本のみ。

小生が不器用極まりなかった唯それだけのことで有りますが、1年間で業1本では今の時流にはそぐわずですかね。弟子が飽きて来なくなってしまうか、指導者が辛抱できずに妥協してしまうか。しかし、素振りが基本とは皆、口をそろえて申します。初心に戻って、竹刀素振りを稽古内で取り組ませている昨今です。

機の熟すのを見極めることの難しさ、興味を持たせることの難しさ。それよりも先ずは続かせることの難しさを考えさせられますが、どうせ稽古するならば、楽しくやりたいじゃないですか。先達の口伝も交えながら、たまには面白おかしく稽古時間を消費することも無駄ではないと思っています。

さて、せっかく理事として企画広報を担当させて頂いていますので、これから各道場の訪問時にはその道場特異、独自の稽古法などをヒアリングして、紹介させてもらおうと勝手に企画していますので皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

あっと、前段の「夏みかん」の食レポです。皮は厚いので包丁で切れ目を入れて、袋ごとに手ではずして、食べてみました。果肉の粒の一つ一つがプチプチして果汁がたっぷり、酸味はあるものの甘みがあり、さっぱりして清々しい味でした。思い返せば、おふくろが剥いてくれて、砂糖や重曹をつけて食べていた子供の頃を思い起こさせてくれました。(笑)

(小田 信秋)

主な活動

5月3日(月・祝) 居合道八段審査会

全剣連 京都市

例年の京都演武大会も2年連続での中止。その中で5月3日 8段審査が実施され、81名の全国からの精鋭が挑戦されたとのこと。福岡からも5名が入洛しましたが、2名が1次審査を合格されましたが、2次審査で残念ながら叶いませんでした。

今年は合格者1名、合格率1.2%超難関でした。昨年からのコロナ禍において稽古会、講習会、大会など殆どの行事が中止になる中で、気持ちを切らさずに黙々と自主稽古を続けてこられた県トップの先生方に「来年こそは…」と部員一同、期待と応援をしています。

六・七月の予定

未定 居合道部理事会・総会 未定

6月 12 土 (公社)福岡県剣道連盟 「総会」福剣連 ホテルサンライン福岡

~~中止 19 土 福岡県居合道高段者(五段以上)講習会及び称号講習会~~

~~中止 福岡県居合道級審査 福剣連 福岡武道館~~

25 金 居合道段位審査会(六段・七段)全剣連 大分県

26 土 居合道地区講習会 全剣連 大分県

27 日 居合道地区講習会 全剣連 大分県

未定 第53回福岡県居合道大会

6月19日は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言延長のため武道館の閉鎖に伴い、中止となりました。

訃報

杖道 範士八段 居合道 教士八段 波止成徳先生が
87歳にて令和3年5月18日ご逝去されました。

福岡県剣道連盟 居合道部一同 心よりご冥福をお祈り
いたします。

平成26年4月13日第44回での波止先生模範演武はこ
ちら (リンクをクリックしてください) ▼

<https://youtu.be/wEQU39w0xp8>



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第179号 令和3年6月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW